

報道関係各位

株式会社 共立総合研究所

第12回「主婦の消費行動に関するアンケート」結果

株式会社 共立総合研究所(大垣市郭町 2-25 取締役社長 牧野司郎)は、標題アンケートの結果を取りまとめましたのでご紹介します。

【調査概要】

1. 調査時期：2009年11月10日～16日
2. 調査方法：大垣共立銀行本支店（東京・大阪を除く）に来訪した主婦（*）791名にアンケート用紙を配布・回収
3. 有効回答者数：769名（有効回答率 97.2%）
4. 回答者属性：

住所	岐阜県	57.6%
	愛知県	37.6%
	三重県	2.6%
	滋賀県	2.0%
	その他	0.3%
年齢	20歳代	6.8%
	30歳代	21.1%
	40歳代	33.4%
	50歳代	23.5%
	60歳代以上	15.2%
職業	専業主婦	16.8%
	正社員・公務員・自営業	34.3%
	パートタイマー	45.7%
	内職・その他	3.1%

(*）本調査における「主婦」とは、既婚の女性で、子どもの有無、就業形態は問わない。

《要約》

1. 主婦の景況感：景気「悪くなった」64.1%
 - ・年齢別・地域別・就業形態別に見ても、半数以上は「悪くなった」と回答
2. 主婦の物価観：物価「高くなった」30.4%、「変わらない」46.3%
 - ・主婦の物価観は相変わらず厳しい傾向
3. 家計収入：収入「減った」61.8%
 - ・前年差21.6ポイントと大幅に上昇

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：共立総合研究所 調査部 陸田^{もつた} TEL 0584-74-2615】

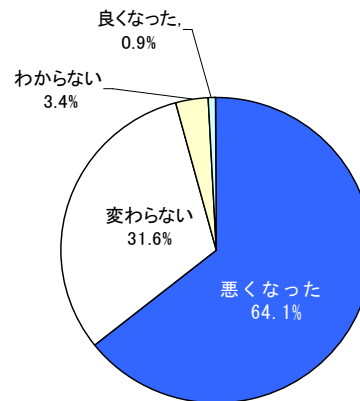
1. 主婦の景況感

「現在の景気は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「悪くなった」は全体の64.1%、「良くなった」はわずか0.9%の回答率となった（図表1）。

また、景況D. I.（「良くなった」－「悪くなった」の回答率の差）は、▲63.2%ポイント（前年差23.6ポイントの上昇）となった（図表2）。

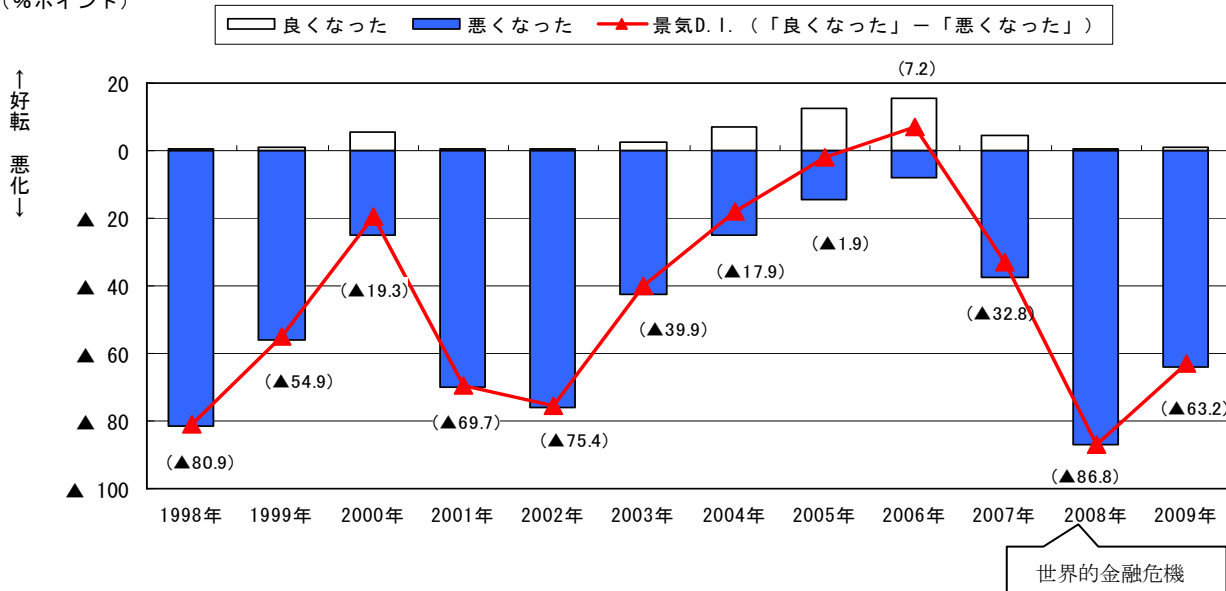
年齢別・地域別・就業形態別にみても半数以上は「悪くなった」と回答しており、前回に引き続き主婦の景況感は厳しいことが伺えた（図表3）。

図表1：主婦の景況感



図表2：主婦の景況D. I.の推移

(%ポイント)



図表3：主婦の景況感（2009年）

(単位:%)

	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
全体	0.9 (0.5)	31.6 (21.7)	64.1 (▲23.1)	3.4 (0.9)
20歳代	5.8 (5.8)	30.8 (23.3)	57.7 (▲32.3)	5.8 (3.3)
30歳代	0.6 (0.6)	43.8 (27.5)	51.9 (▲28.9)	3.7 (0.8)
40歳代	0.4 (▲0.7)	30.4 (20.0)	66.1 (▲21.3)	3.1 (2.0)
50歳代	1.1 (1.1)	24.4 (18.6)	72.2 (▲18.3)	2.2 (▲1.5)
60歳以上	0.0 (0.0)	29.1 (22.8)	66.7 (▲23.9)	4.3 (1.2)
岐阜県	0.9 (0.4)	31.4 (22.2)	63.9 (▲23.3)	3.8 (0.6)
愛知県	1.0 (0.7)	33.0 (22.8)	63.5 (▲24.3)	2.4 (0.7)
専業主婦	0.8 (0.8)	41.9 (29.4)	53.5 (▲30.4)	3.9 (0.3)
正社員	1.9 (0.7)	23.3 (16.3)	71.8 (▲17.7)	3.1 (0.8)
パート	0.3 (0.3)	35.1 (23.4)	61.4 (▲25.3)	3.1 (1.5)

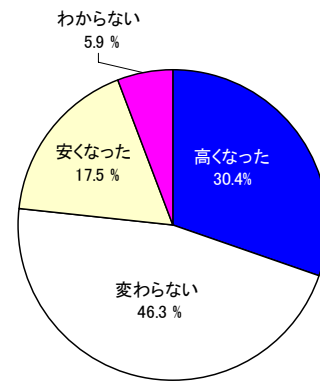
(注)括弧内は、前年差を示す。

2. 主婦の物価観

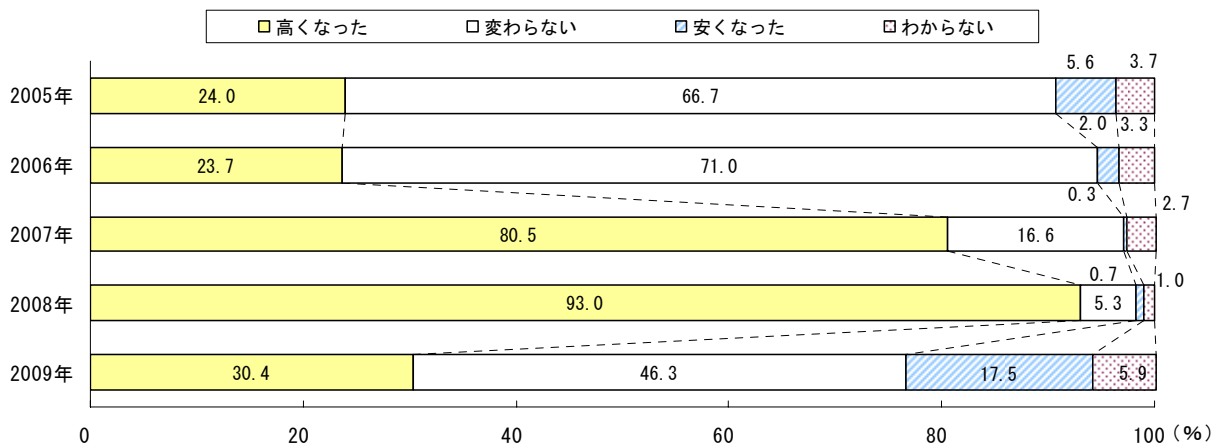
「最近の物価は、1年前と比べてどうなったと感じていますか」と尋ねたところ、「高くなった」が全体の30.4%（前年差62.6ポイント低下）となった（図表4）。

2009年は物価水準が低下傾向であったにもかかわらず、約半数の主婦が「変わらない」と回答しており、価格に関してシビアな意識が伺えた（図表5-6）。

図表4：主婦の物価観



図表5：主婦の物価D.Iの推移



図表6：主婦の物価観（2009年）

(単位: %)

	高くなった	変わらない	安くなった	わからない
全体	30.4 (▲62.6)	46.3 (41.0)	17.5 (16.8)	5.9 (4.9)
20歳代	36.5 (▲48.5)	30.8 (18.3)	17.3 (14.8)	15.4 (15.4)
30歳代	35.2 (▲59.6)	43.2 (38.5)	15.4 (15.4)	6.2 (5.6)
40歳代	28.1 (▲66.3)	49.6 (45.2)	18.0 (17.6)	4.3 (3.6)
50歳代	29.4 (▲63.2)	50.6 (44.8)	15.0 (14.5)	5.0 (3.9)
60歳以上	27.4 (▲62.2)	43.6 (38.4)	23.1 (21.0)	6.0 (2.9)
岐阜県	33.5 (▲59.6)	44.8 (39.8)	15.2 (14.5)	6.6 (5.5)
愛知県	25.7 (▲66.9)	48.6 (42.9)	21.2 (20.5)	4.5 (3.5)
専業主婦	27.9 (▲60.5)	42.6 (32.8)	23.3 (22.4)	6.2 (5.3)
正社員	30.5 (▲60.6)	44.3 (38.1)	19.5 (17.9)	5.7 (4.5)
パート	30.9 (▲65.3)	49.9 (46.7)	13.8 (13.8)	5.4 (4.9)

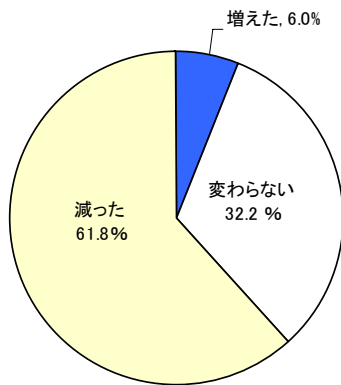
(注)括弧内は、前年差を示す。

3. 家計の収支

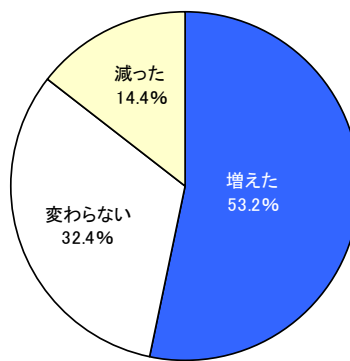
「今年の家計収入は、昨年と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」は全体の6.0%（前年差5.9ポイントの低下）、「減った」は全体の61.8%（前年差21.6ポイントの上昇）となった（図表7）。一方、「今年の家計支出は、昨年と比べてどうなりましたか」と尋ねたところ、「増えた」は全体の53.2%（前年差21.2ポイントの低下）、「減った」は全体の14.4%（前年差7.8ポイントの上昇）となった（図表8）。

特に2009年の家計収入は、年齢別・地域別・就業形態別に見ても半数以上が「減った」と回答しており、家計の厳しい状況が浮き彫りとなった（図表9）。

図表7：家計の収入（全体）



図表8：家計の支出（全体）



図表9：家計の収入（2009年）

（単位：％）

	増えた	変わらない	減った
全体	6.0 (▲5.9)	32.2 (▲15.7)	61.8 (21.6)
20歳代	11.5 (▲16.0)	36.5 (▲6.0)	51.9 (21.9)
30歳代	8.1 (▲13.5)	42.2 (▲3.4)	49.7 (17.0)
40歳代	7.0 (▲3.4)	28.0 (▲25.3)	65.0 (28.7)
50歳代	3.3 (▲2.0)	28.3 (▲17.7)	68.3 (19.6)
60歳以上	2.6 (▲2.6)	31.6 (▲11.1)	65.8 (13.7)
岐阜県	4.3 (▲5.6)	31.7 (▲14.6)	64.0 (20.2)
愛知県	8.0 (▲6.2)	33.6 (▲15.4)	58.5 (21.7)
専業主婦	3.9 (▲5.1)	36.7 (▲1.1)	59.4 (6.2)
正社員	5.7 (▲5.6)	31.6 (▲19.8)	62.7 (25.3)
パート	6.9 (▲6.9)	32.4 (▲16.0)	60.7 (22.9)

（注）括弧内は、前年差を示す。

図表10：家計の支出（2009年）

（単位：％）

	増えた	変わらない	減った
全体	53.2 (▲21.2)	32.4 (13.5)	14.4 (7.8)
20歳代	61.5 (▲18.5)	21.2 (6.2)	17.3 (12.3)
30歳代	64.0 (▲15.7)	27.3 (12.2)	8.7 (3.5)
40歳代	59.8 (▲20.9)	28.1 (13.3)	12.1 (7.7)
50歳代	38.9 (▲27.2)	39.4 (15.6)	21.7 (11.6)
60歳以上	42.2 (▲19.3)	43.1 (13.9)	14.7 (5.3)
岐阜県	56.6 (▲18.7)	28.9 (10.6)	14.5 (8.1)
愛知県	47.2 (▲25.8)	38.5 (18.2)	14.2 (7.4)
専業主婦	53.5 (▲9.0)	34.9 (9.0)	11.6 (0.0)
正社員	46.2 (▲24.2)	34.0 (11.0)	19.8 (13.2)
パート	57.9 (▲23.5)	30.5 (16.7)	11.5 (6.6)

（注）括弧内は、前年差を示す。

4. 支出動向

(1) 支出が増えた費目/支出が減った費目

「今年の家計支出を考えたとき、昨年より支出が増えた費目は何ですか（あてはまるもの全て選択）」と尋ねたところ、3年ぶりに「教育費」はトップとなった。ついで「交通・通信費」、「食費」と続いた（図表11）。

また、「今年の家計支出を考えたとき、昨年より支出が減った費目は何ですか（あてはまるもの全て選択）」と尋ねたところ、1位は「レジャー費」、2位は「外食費」、3位は「衣料費」となった（図表12）。

上位3費目の順位は昨年同様であり、引き続き不要不急の支出を控えている傾向が伺えた。

(2) 切り詰めたい費目/増やしたい費目

「今年の家計支出を考えたとき、今以上に、切り詰めたい費目は何ですか（3つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「光熱・水道費」、2位は「食費」、3位は「外食費」となった（図表13）。

「光熱・水道費」や「外食費」など、日々の生活の中からできるだけ節約に努めたいとする主婦の意識が伺えた。

また、「今年の家計支出を考えたとき、今以上に、支出を増やしていきたい費目は何ですか（3つまで選択）」と尋ねたところ、1位は「レジャー費」、2位は「教養娯楽費」、3位は「家電・家具購入費」となった（図表14）。

レジャーや趣味などの支出を増やして、より豊かな生活を求める傾向が見られた。

図表11：支出が増えた上位3費目（全体）

（単位：％）

2009年			
1位	教育費	34.9%	(2.9)
2位	交通・通信費	32.5%	(▲19.6)
3位	食費	32.2%	(▲29.7)

（注）括弧内は前年差を示す。

図表12：支出が減った費目（全体）

（単位：％）

2009年			
1位	レジャー費	44.3%	(▲2.6)
2位	外食費	37.5%	(0.8)
3位	衣料費	35.0%	(2.4)

（注）括弧内は前年差を示す。

図表13：今以上に切り詰めたい費目（全体）

（単位：％）

2009年			
1位	光熱・水道費	42.1%	(1.8)
2位	食費	36.2%	(▲4.8)
3位	外食費	34.6%	(2.6)

（注）括弧内は前年差を示す。

図表14：今以上に増やしたい費目（全体）

（単位：％）

2009年			
1位	レジャー費	44.8%	(4.1)
2位	教養娯楽費	21.5%	(▲0.8)
3位	家電・家具購入費	19.0%	(6.0)

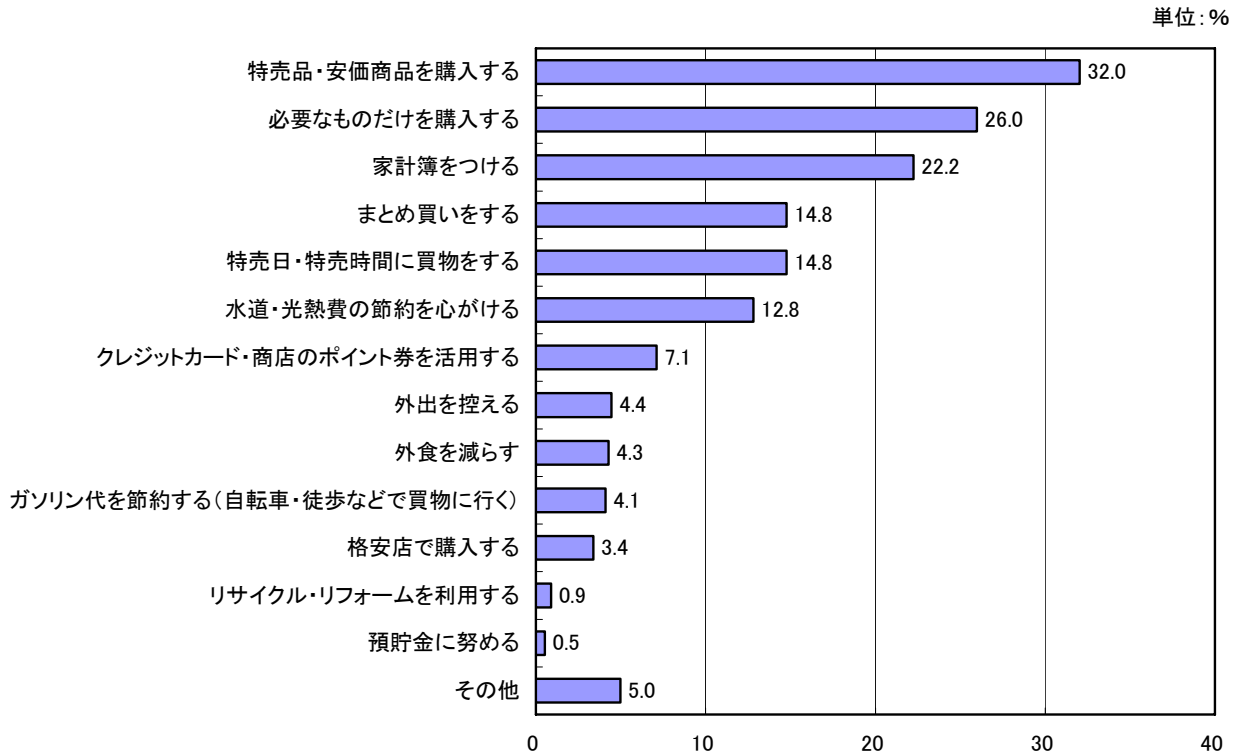
（注）括弧内は前年差を示す。

5. 家計管理について工夫していること

「家計管理をする中で、工夫していることは何ですか」（自由回答）と尋ねたところ、「特売品・安価商品を購入する」という回答が32.0%で最も高く、ついで「必要なものだけを購入する」（26.0%）、「家計簿をつける」（22.2%）と続いた（図表15）。

多くの主婦が、常日頃から独自の方法で様々な工夫をして家計のやりくりを行っており、無駄な支出を抑えている様子が伺えた。また、「特売品・安価商品を購入する」「特売日・特売時間に買物をする」などからは、主婦の低価格志向もみられた。

図表15：家計管理について工夫していること（全体）



(注1)有効回答者のうち上記の回答は73.1%(562名)から得た。

(注2)複数回答のため合計は100%を超える。

以上